

実践形式でビジネススキルを身につけられる【コミュトレ】が 「社会人のコミュニケーション傾向調査」を実施！

株式会社アイソルート(本社:東京都渋谷区、代表取締役:野田 雄彦)が展開する実践形式でビジネススキルを身につけられる、ビジネスのスクール「コミュトレ」は、「対人コミュニケーション」の研究から生み出された「コミュニケーション・スキル尺度 ENDCOREs(エンドコアズ)」を用いて約 6000 人の社会人にアンケート調査を実施いたしました。

はたらく人に、心躍る毎日。



昨今のビジネスパーソンには「21 世紀型スキル」の 4C (Critical thinking (批判的思考)・Creativity (創造性)・Collaboration (協働)・Communication (コミュニケーション)) と呼ばれる 4 つのスキルが求められるようになりました。そこで、コミュトレでは立命館大学 教育開発推進機構 教授・藤本学先生の「対人コミュニケーション」研究から生み出された「コミュニケーション・スキル尺度 ENDCOREs(エンドコアズ)」を用いたコミュニケーション能力診断ツールを制作し、ビジネスパーソン男女 6179 名にアンケートを行い、コミュニケーション能力の傾向調査をいたしました。

【調査概要】

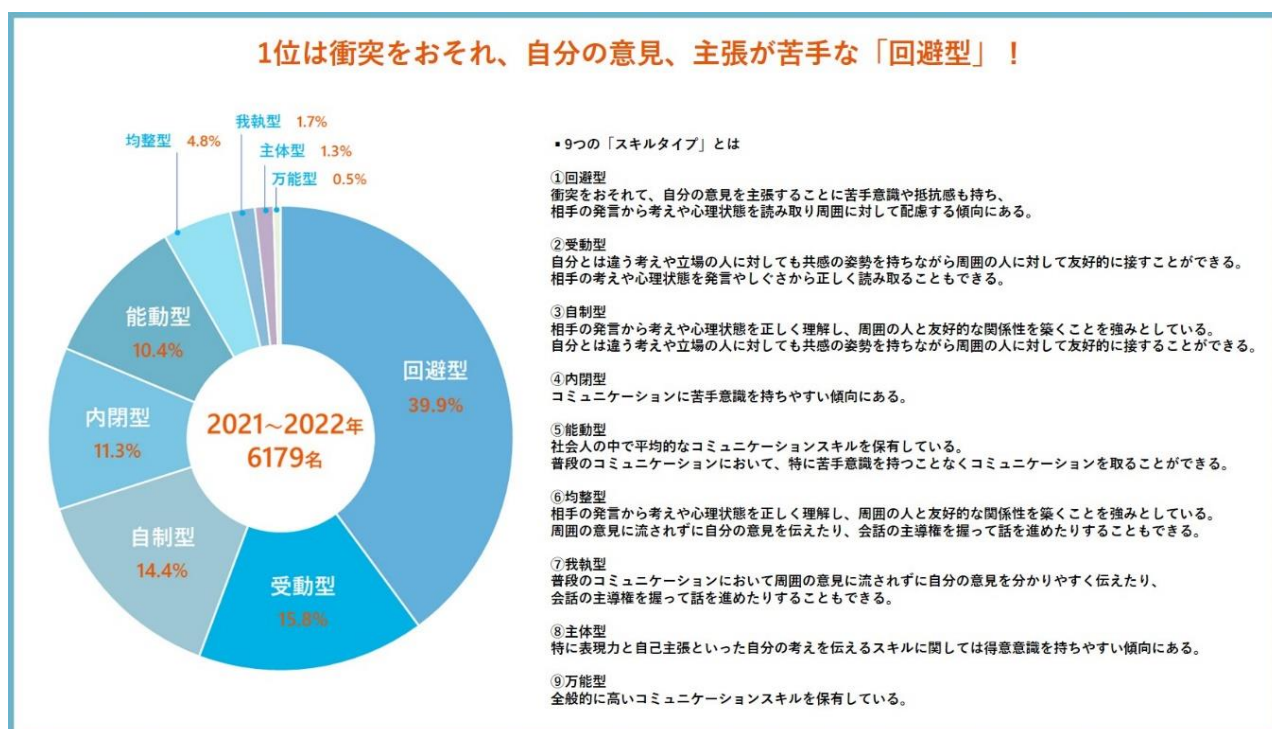
調査期間:2021 年 1 月 1 日~2022 年 12 月 31 日

調査方法:無料アドバイス参加者への診断シート

有効回答者:「ビジネススキル・コミュニケーションスキル」学習に興味を持つ 20 代~40 代の男女 6179 名

※本調査を引用いただく際は、「コミュトレ調べ」とご記載ください。

【調査結果】



アンケートでは、上位から、「回避型」39.9%、「受動型」15.8%、「自制型」14.4%、「内閉型」11.3%、「能動型」10.4%、「均整型」4.8%、「我執型」1.7%、「主体型」1.3%、「万能型」0.5%という結果になりました。

「回避型」「受動型」「自制型」が上位 3 スキルであり、全体の 70.1%を占めています。

どのタイプも、相手の発言から考えや心理状態を読み取る、周囲に対して配慮する、友好的に接するという傾向にあり、表現力や自己主張を苦手とします。

この結果から、現代のビジネスパーソンは、他者とのコミュニケーションにおいて空気を読みすぎ、自分を抑え、他者を立てようとする傾向にあることが読み取れます。

ビジネスシーンでは、「プレゼン」「スピーチ」「セールス」「交渉・折衝」など、自分の考えを正しく表現し、伝える場が数多くあるものの、それらを苦手とする社会人の割合が多い結果になりました。

【自社無料診断サイト】

無料アドバイスに参加されない方にも使っていただける診断サイトはこちら

<https://commu-training.isoroot.jp/blog/susume/chart/>

【コミュトレ】

コミュトレは、ビジネスパーソン 10 万人のデータから仕事に必要な「スキル」を特定し、様々なビジネスシーンを想定したリアルなトレーニングを行う、一生モノの「スキル」を着実に身につける実践型の新しいビジネスのスクールです。

■コミュトレ公式サイト: <https://commu-training.isoroot.jp/>



会社名: 株式会社アイソルート

URL: <https://www.isoroot.jp/>

代表者: 代表取締役社長 野田 雄彦

事業内容: パッケージソフトの開発/コンピュータシステムの開発/ネットワーク運用管理/
人材教育・コンサルティング事業

設立: 1999 年 9 月

所在地: 東京都渋谷区代々木 2-1-1 新宿マインズタワー 13F

トレーニング会場: 東京、大阪、名古屋/オンライントレーニング: 全国